

第620回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「じゃじゃじゃTV」

平成29年5月31日(水)

(株) I B C 岩手放送

第620回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成29年5月31日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 8名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 畠山 俊彰 岩田 圭司

村井 康典 澤口 たまみ

龍澤 尚孝 宮 順子

欠席委員の氏名 小松 務 栗田 均

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

武田 敏哉 取締役放送本部長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

中島 勝志 報道局長

堀米 道太郎 テレビ制作部長

石垣 美和 テレビ制作部副部長

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議題 「じゃじゃじゃTV」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 毎回の特集が面白くて、満足感のある内容になっている。今回はS L 銀河の話題だったが、S Lの紹介だけではなく、プラネタリウムや転車台にも触れていて、地元の私たちにも発見がある。中にはディープな情報もあり、スタッフが楽しみながら作っている楽しい番組だと思った。
- 歴史が長いし、それなりに存在感もある。毎週、あのくらいの情報量の番組を作っていくのは大変だろうと思う。魅力的だったのは、視聴者からのメールや投稿。なかなかしみじみとした内容の投稿もあって、そこをもっと重視するともっと心に残るのかなという感じがした。
- 「催しを開いているところに行って、お金を使って遊ぼうよ」という提案が多い。若い家族とかはいいと思うが、家でゆっくり過ごす休日の提案も工夫次第でできる。「家族で家でゆっくり過ごす」という提案がもっとあってもいいと思った。
- 地域の情報は地元にいると馴染みのあるところが多いが、映像を通して見ると意外と新鮮に見える。地元の人も楽しめ、発見があり気付きがある。それが、番組が長寿になっている1つの要素ではないか。リラックスして見られる親しみやすい地域密着型の番組だと思うので、今後も長く続けて欲しい。
- ご当地キャラはいい企画。一方、取材に協力している人たちの思いがちゃんと視聴者に伝わっているような作りになっているのか気になる部分もあった。金勢まつりでは、導入のつかみ部分がやや不自然だった。珍祭、奇祭が興味本位で終わらないよう歴史的な背景もふまえて表現してほしい。
- 登場するリポーターのキャラクターが前面に出て、番組の印象に大きく影響している。若い方は明るさやおどけた部分が前面に出るが、ベテランアナウンサーはしっかり番組をまとめていると思う。